様式 6

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	七重浜海水浴場開設事業補助金	開始 年 度	昭和53年度
----------------	----------------	-----------	--------

団 体 名	七重浜さざなみ会
-------	----------

助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	七重浜海浜公園内に遊泳地区を設け、水難事故防止の監視ならびに救護体制の整備を行っており、函館市と北斗市で協議のうえ応分の負担をしている。 (参考：平成30年度 函館市50万円、北斗市180万円)
目 的	(目 的) 夏季における函館市民、周辺住民のレクリエーションおよび健康増進の場として、また、青少年の健全育成のため、安全性に十分配慮した海水浴場を開設、運営する。
・ 効 果	(効 果) 青少年の健全な育成および海水浴に伴う水難事故防止が図られる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		繰越金	雑収入			計
		市	その他					
収	26	500	1,020	85	20			1,625
	27	500	951	0	0			1,451
	28	500	1,121	0	0			1,621
入	29	500	1,335	0	0			1,835
	30	500	1,540	0	0			2,040
支	年 度	人件費	事務費	事業費				計
	26	1,055	84	390				1,529
出	27	1,064	18	369				1,451
	28	1,338	84	25				1,447
	29	1,640	83	105				1,828
	30	1,821	51	161				2,033

様式 6

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	七重浜海水浴場開設事業補助金
----------------	----------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒	☐	本市および周辺自治体住民の夏季におけるレクリエーションおよび健康増進の場としての役割を担っており、北斗市と協議のうえ、応分の負担をしている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	当海水浴場は、本市の児童生徒、一般市民も多数利用しており、安心・安全な海水浴場として水難事故の防止に効果がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☐	☒	事業収入が望めない団体であり、その中で経費の削減などによる効率的な運営に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	団体の自主性を尊重するとともに、今後も本市市民の健康増進や水難事故の防止に資するためには、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	七重浜海水浴場開設事業補助金
----------------	----------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

七重浜海水浴場の利用者のうち, 本市居住者を特定することはできないが, 函館市民も相当の利用をしているものと思われることから, 開設日数・利用者数・事故件数により効果を測定する。

(達成状況)

○平成30年度実績
 開設期間: 平成30年7月21日(土)~8月19日(日) (27日間)
 利用者数: 9,301人(開設期間中合計)
 事故件数: なし

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☒ 一定の効果をあげている ☐ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続 ☒ 見直したうえで補助を継続 ☐ 廃止 ☐ その他	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を適時確認し, 補助対象経費の見直しを図るなど, 適正な補助金額の設定について検討する。 (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和3年度		令和3年度